

4777  
28  
—  
2  
14

16

昭和二年十一月二十三日

| 本籍地 | 現任所 | 所属部隊 | 氏名 | 官等級 | 入籍番號 |
|-----|-----|------|----|-----|------|
|     |     |      |    | 不詳  | 不詳   |

備考

- (一) 本欄書は部隊長又は職務取扱者等其地方役員局人事部長宛通報すべし、
- (二) 責任者に於て知得しある事と認むるもののみを付記載す
- (三) 兵隊在籍の特務士官准士官下士官兵に付記載す
- (四) 同府縣人は勿論他府縣出身者に就ても記載す
- (五) 知得しある範圍に於て未だ未だ限り詳細に記載す
- (六) 他人より聞きて承知したる事項は各當該欄に相手方を記載す

本欄書は右様受着

ありあまるかう清く知す

言を道徳に記し

昭和二十四年二月十三日

本國各軍より復員者あり

佐世保地方復員残務処理部復員業務科

未復員者消息に因する件回答

佐世保第七號の九号を以て即照会の元整長

年九月十五日附一五五空基より一時九五八空に転勤し同隊勤務中

課長復員者十一月五日行方不明とあり同日附戦死と認定されておる

行方不明の状況は左記の通りですが此の事は当時

隊員元上整長

の記憶に依るものであります 私も行方不明等の状況は記憶

ありまして不明の点がありまして一五五空基より転勤し

と同日転勤し来て

氏は

確実な状況を得る事へ来ておる

24年3月/日



163

海岸に於て作業中同日午後四時頃敵機が編隊を組め元上  
艦を襲撃[黒]外二名は附近の小島に防空壕に退避せしが元艦  
長[黒]及び作業の都合上外の防空壕に退避せしものと認める  
同艦は物語り爆弾の洗礼に見舞われ爆撃終りたるも[黒]  
は被害を見せず其の後四日内は一週り捜索隊を以て附近を捜  
索せしが遂に発見するに至らず 当時之状況より推察するに  
直撃弾を受けた小島に防空壕あり敵機の爆撃は依り同然  
防空壕にありし壯烈なる戦死を遂げざるものと認定す  
(以上の様事書類を度勢に提言すとの[黒]氏の言ひす)

終

104-11

58482

|       |            |      |             |
|-------|------------|------|-------------|
| 死亡年月日 | 昭和十九年十月三十日 | 死亡原因 | 熱帯肥マツリ了席断片  |
| 生年月日  | 昭和十八年七月十日  | 出生地  | 鹿児島県鹿児島市    |
| 入隊年月日 | 昭和十八年七月十日  | 入隊場所 | 第一根拠地隊司令部   |
| 職名    | 兵          | 階級   | 兵           |
| 勤務地   | 第一根拠地隊司令部  | 勤務内容 | 第一根拠地隊司令部勤務 |
| 戦死年月日 | 昭和十九年十月三十日 | 戦死場所 | 第一根拠地隊司令部   |
| 戦死原因  | 熱帯肥マツリ了席断片 | 戦死状況 | 戦死          |

2066

石 甲 旨

昭和二十五年五月三日

本 籍 地

現 任 所

所 属 部 隊

氏 名

石 同

第七特陸

海軍中尉

ハ

一本 親 務 ハ 於 長 父 シ 一 人  
二 學 員 在 稱 ノ 特 志 士 官 出 任 二 就 任 記 叙 ス  
三 同 人 ハ 勿 論 二 出 任 二 就 任 記 叙 ス  
四 親 人 シ ア 勿 論 二 出 任 二 就 任 記 叙 ス  
五 人 シ ア 勿 論 二 出 任 二 就 任 記 叙 ス